

# 予算質疑

関係機関との連携をはかる。併せてスマートフォンやタブレット対応の子育て支援アプリを作成し無料で提供。母子手帳などへ利用し、妊娠期から18歳まで広く対応。

## 今後の農家への

## 支援策は

### 農政課

**質疑** 本年度より減反政策が廃止され水田への直接支払制度が無くなる。農家への支援策は。

**回答** 実質的な予算計上はしていない。農地の賃借料を農業委員会で購入する検討をしている。3月中には結論が出る。また、共同調理場への野菜の供給などで、地産地消や高収益作物をJAと共に推進。

## 小規模水道の

## 維持補修費は

### 上下水道課

**質疑** 小規模水道の維持補修費は。

**回答** 基本は所有する地元での負担。大規模な場合は村で対応。

### 全体討論

### 反対討論

3階トイレ改修工事請負費は議会費に

入れるのではなく、庁舎管理の財産管理費に入れるべき。  
▽賛成多数により原案のとおり可決。

### ●国民健康保険事業勘定特別会計予算

**質疑** 基金は1億4600万円ほどあるが、今後の予定は。

**回答** 被保険者数の減少や高齢化などにより、保険税の減少や高額医療の増加など基金運用は重要。しかし、県域化によりリスクは軽減されるので、今後の基金

は5000万円程度でも良いと考える。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●後期高齢者医療特別会計予算

▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●下水道事業特別会計予算

**質疑** 公営企業会計への移行への進捗状況や人員体制は。

### 回答



本年度から子育て世代包括支援センターが開設予定。妊娠期から18歳までの切れ目のない支援が望まれる。

平成31年度4月に移行するため、今年度は固定資産の洗い出しや決算書の整理、貸借対照表の期首金額の確定などを行い、課職員上げて対応する。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●農業集落排水事業特別会計予算

**意見** 人件費の発生しない特別会計は必要ないのでは。

**回答** まだ公共下水道へ接続出来ないことや、補助事業の透明性を確保するために必要。  
▽全員の賛成により原案のとおり可決。

### ●水道事業会計予算

**質疑** 自動検針の普及は。

**回答** 近年、光ファイバーによるデジタル回線に変更になるケースが多く、アナログ回線の自動検針は全体の40%位。検針員による検針は60%位。今後、デジタル回線に対応したスマートメータ等の導入を検討。

**質疑** 水道ビジョンの進捗状況は。

**回答** 2ヶ月遅れで発注したため現在遅延している。更新事業は30年度から予定。計画の成果品が出来上がる時期によつては、31年度になってしまう可能性もある。

▽全員の賛成により原案のとおり可決。